

2019年度 施策マネジメントシート【2018年度実績評価】

作成: 2019年 6月 14日

施策番号 4-2-2	施策名 スポーツしやすい環境づくり	基本目標 個性的で心豊かな人と文化を育むまちづくり 政策名 交流を通じた魅力ある地域文化の形成
主管課 施策関係課	社会教育課	課長名 日下勝祐 内線 517

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意図			結果	
町民がいつでも気軽に自由にスポーツができる環境づくりを進めます。			町民		いつでも気軽に自由にスポーツができるようにする			健康で明るいまちづくりを実現する
成果指標		説明	単位	2011年度(策定時)	2017年度実績	2018年度実績	2018年度目標	
① スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	住民意識調査	%	63.3	70.8	66.1	70.0		
② スポーツ指導員数 町内体育施設利用者数	指導員数 利用実績	人 人/年	113 174,075	100 177,639	99 171,864	126 198,000		
③ 高校生以下のゲートボール 競技人口	社会教育課調べ (競技人口)	人	9	13	17	20		
成果指標 設定の考え方	①健康で明るいまちづくりの推進のため、スポーツしやすい環境づくりのため70%以上を目指す。 ②スポーツしやすい環境への向上を目指し、施設利用者については前期計画策定時点の水準を目標とする。指導者数については、特にスポーツ少年団の指導者数を見込む。 ③ゲートボール発祥の地として、競技の普及啓発を行うこととしており、青少年層の競技者を継続して確保していく							

2. 施策の事業費

	2017年度決算	2018年度決算
施策事業費(千円)	175,029	259,746
人工数(業務量)	1.7710	1.7724

3. 施策の達成状況

(1)施策の達成度とその考察			
①2018年度の成果評価 (前年度比較)	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	台風被害による、パークゴルフ場、サッカー場、野球場において利用者へ不便をおかけしたことも要因。 指導者の安定的な確保に至っていないことも要因。
②第4期総合計画(後期実施計画)の最終的な目標達成状況	<input type="checkbox"/> 目標は達成できた <input type="checkbox"/> 目標は概ね達成できた <input checked="" type="checkbox"/> 目標は達成できなかった	根拠 (理由)	プールの老朽化、健康プラザ修繕カ所の増加に加え、台風被害によるパークゴルフ場、サッカー場、野球場の利用に支障があったことも要因の一つ。 一方、民間の企業、団体と連携したソフト事業の充実への期待があげられる。 ゲートボールの若年層への普及活動は継続するも、現時点で定着しているとは言えず、再考が必要。
(2)施策の成果評価に対する第4期総合計画(後期実施計画)の事務事業総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	スポーツ人材強化・育成事業 チャレンジデー実施事業 ゲートボール普及活動事業 各種大会出場支援事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	・体育施設では、台風被害にあったパークゴルフ場、サッカー場、野球場の確保、改修等が急務であり、一定期間ご不便をおかけするが、早急に環境整備が必要。 ・各種大会出場の支援は、今後も継続実施。 ・発祥の地ゲートボールの普及は、児童生徒への取組みに加え、社会人(現役世代)へのアプローチが課題。 ・少年団活動等における指導者の育成確保については、地域内人材の発掘に加え、民間企業との連携等も構築する必要あり。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

進捗結果	A	B	C	D	E	A:実現した B:(後期実施計画策定期と比較して)大きく前進した C:(後期実施計画策定期と比較して)前進した D:(後期実施計画策定期と比較して)変わらない E:(後期実施計画策定期と比較して)後退した
			○			
※該当に○印						

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<ul style="list-style-type: none"> 温水プールの老朽化に対し計画的に整備を進める必要がある。 体育施設の再編について検討する必要がある。 ゲートボールの競技人口が減少しているため、若年層や社会人に対する普及活動の強化が求められる。 民間企業や団体との連携により、スポーツに取り組む環境の整備に取り組む必要がある。 児童生徒に対し、夢や目標を持ち挑戦するきっかけとなるソフト事業の充実が求められる。
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	<ul style="list-style-type: none"> 温水プールの早期建替要望がある。 議会から温水プール建替の提言がある。 温水プールに関する住民、利用者からのアンケート結果がある。 台風で被害を受けた施設の復旧要望がある。

5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画期間において新たに取り組むべき課題)

<ul style="list-style-type: none"> 温水プールの建替基本計画を策定する。 プール跡地を含め、体育施設の再編整備について早急に検討する必要がある。 民間団体、組織との連携により「一流を見て、聴いて、学ぶ」ソフト事業の充実を図る。 ゲートボールは、日本ゲートボール連合が今後打ち出す「再生プラン」を踏まえ、一層の普及促進を図る。 少年団等の指導者育成確保について、地域内人材の発掘に加え、民間企業等の協力体制を調査、検討する。

6. 総合計画推進委員会(庁内評価)

評価	地域おこし協力隊の導入や一流に触れる機会の充実に向けた取組、温水プールの建替に取りかかるなど課題解決に向けて取組を開始しており、策定期と比較して前進したと評価する。	A	B	C	D	E
進捗結果			○			
今後の取組に対する意見	体育施設の再編整備について、関係課と連携を図り早急に進めてもらいたい。	A:実現した B:(後期実施計画策定期と比較して)大きく前進した C:(後期実施計画策定期と比較して)前進した D:(後期実施計画策定期と比較して)変わらない E:(後期実施計画策定期と比較して)後退した				

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	民間との協定締結や協力隊の活用など、スポーツ振興に向けた取組が行われている。	A	B	C	D	E
進捗結果			○			
今後の取組に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ゲートボールの普及について、子どもの頃から触れる機会を作る取組を進めてほしい。 少年団活動と地域活動については、バランスを取りながら取り組めるよう促してほしい。 	A:実現した B:(後期実施計画策定期と比較して)大きく前進した C:(後期実施計画策定期と比較して)前進した D:(後期実施計画策定期と比較して)変わらない E:(後期実施計画策定期と比較して)後退した				